

にしよどがわフードバンク(食料無料市場) 取り組みと今後の課題

大阪府 公益財団法人淀川勤労者厚生協会西淀病院

発表：前田元也〔西淀病院組織課〕

共同研究者：中村玉枝〔西淀川淀川・西淀川健康友の会〕
園部建史〔(公財)淀川勤労者厚生協会〕



1. はじめに

・コロナ危機によって失業や廃業による生活困窮者が今まで以上に増える中で、昨年末に大阪で餓死事件が相次いで起こりました。60歳代と40歳代の親子が餓死。死亡時は2人とも体重30キロで所持金もなかったということで、近隣住民はその異変に気が付かなかったと報道されています。
「こんな人が周りに“助けて”と声に出せずにいるのではないか」との思いから、普段取り組んでいる支援(相談)活動の手が届かない方たちの掘り起こし、困難に向き合い物理的な支援と生活再建の手立てを共に考える場をつくらうと、区内の幅広い団体、個人などの参加を得て始めました。

2. 開催概要

	日時	場所	参加者	ボランティア
第1回	2021年1月24日(日)	西栄寺	200人	130人
第2回	2021年2月27日(土)	西栄寺	500人	140人
第3回	2021年3月28日(日)	西栄寺	430人	151人
第4回	2021年6月5日(土)	歌島橋バスターミナル	550人	148人
第5回	2021年10月16日(土)	西栄寺		



実行委員会参加団体・協力団体

- ・泰心山 西栄寺(会場も提供)
- ・公財)淀川勤労者厚生協会
- ・一社)大阪ファルマプラン
- ・西淀川・淀川健康友の会
- ・西淀川医療労働組合
- ・西淀川労働組合総連合
- ・西淀川民主商工会
- ・西淀川生活と健康を守る会
- ・新日本婦人の会西淀川支部
- ・西淀川福祉会
- ・こども食堂運営団体(区内6団体のうち2団体が参加)
- ・あおぞら財団
- ・外国人の子どもの学習支援にとりくむNPO
- ・区役所(ポスター掲示)
- ・連合町会長も賛同を表明
- ・ザ淀川(地元タウン誌)



賛同・協力していただいた企業・団体

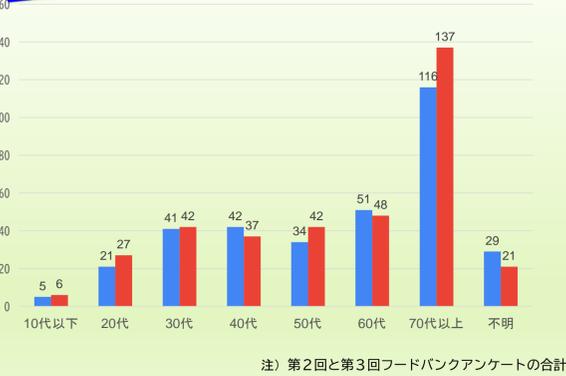
- ・江崎グリコ株式会社
- ・株式会社イズム(洋菓子メーカー)
- ・株式会社モリモト医薬
- ・楠本米穀店
- ・ピアットフォルテ塚本店(スーパー)
- ・よどがわ市民生活協同組合
- ・生活協同組合おおさかパルコ
- ・農民運動全国連合会、大阪農民連
- ・株式会社関西共同印刷所
- ・魚国総本社
- ・イトランド株式会社
- ・佐竹食品



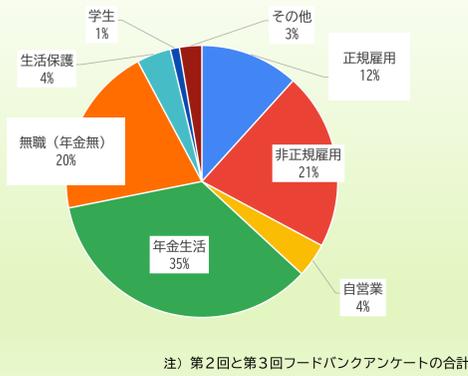
その他、より身近な地域を限定した定期市(ミニフードバンク)4か所開催し、常設会場を区内に2か所設置しています。

3. アンケート結果から見えること

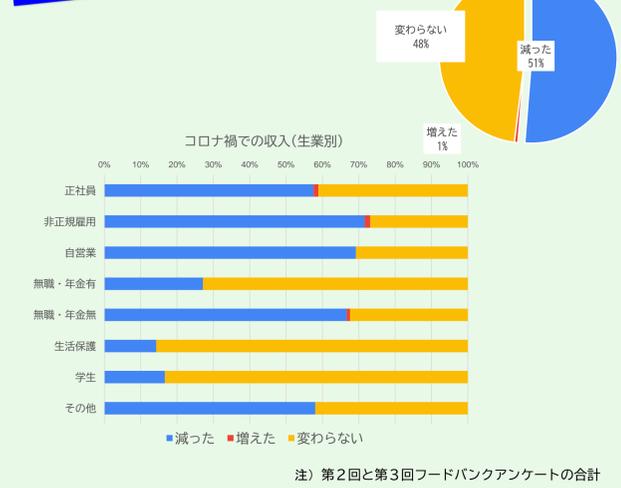
世代別



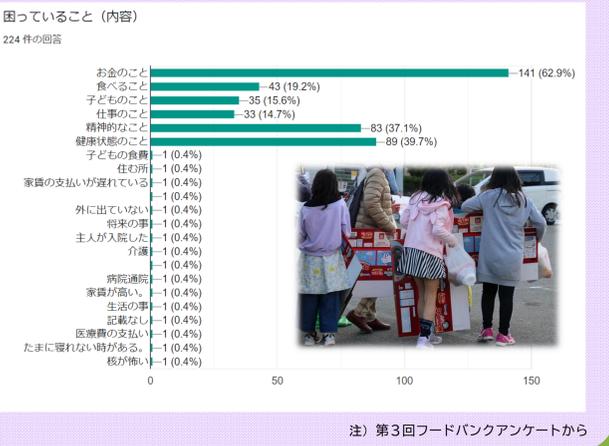
仕事(生業)



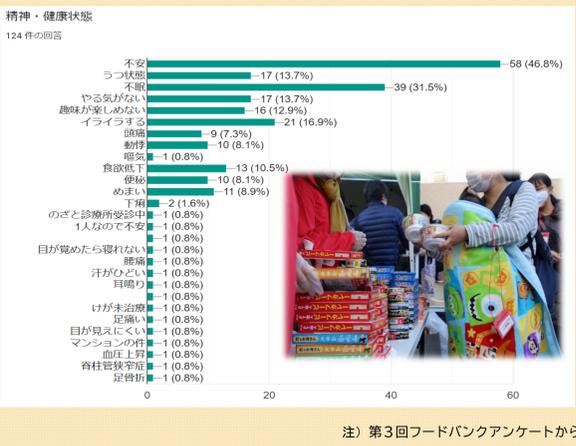
コロナ禍での収入



困っていること



精神状態・健康状態



4. 情報入手先



5. 参加回数

把握できている参加者実数 914人

2回以上	287人
3回以上	134人
4回以上	51人



回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
人数	627人	153人	83人	31人	10人	8人	1人	1人

6. まとめ(今後の課題)

【つながる・援助する・何とかする】

【これまでの経過】

①つながる

- ・「にしよどがわフードバンク」を4回、地域を限定した小規模な「定期市」を4回開催する中で、コロナ禍で、多くの方が生活苦でたいへんな状況に陥っているなど、地域の実態が浮き彫りになりました。
- ・参加者も回数を重ねる度に増えて、500人を超える規模になっています。
- ・フードバンクに参加する団体、企業、個人も回を重ねるごとに増え、活動の幅が広がっています。

【今後の課題】

②援助する、何とかする

- ・単に、食料品と日用品の提供するだけでなく、つながった人914人に対して(特に複数回、参加されている人)への援助活動が必要です。

- 次回のお知らせビラ配布時に声かけ・対話
- フードバンク開催時に相談コーナーへの案内・誘導
- 常設会場の周知
- 必要な制度へとつなぐ

